

交通政策審議会観光分科会 第25回 議事概要

1. 日時

平成 26 年5月 12 日(月)14 時 00 分～16 時 00 分

2. 場所

中央合同庁舎3号館4階幹部会議室

3. 出席者

委員:

篠原委員、竹内委員、伊達委員、田中委員、野田委員、屋井委員、矢ヶ崎委員、大塚委員、大橋委員、奥委員、恩藏委員

国土交通省:

観光庁、総合政策局、鉄道局、自動車局、海事局、港湾局、航空局

4. 議題

- ・前回のご指摘事項について
- ・「平成 25 年度観光の状況(案)及び平成 26 年度観光施策(案)」について

5. 議事概要

観光庁より、前回のご指摘事項、並びに「平成 25 年度観光の状況(案)及び平成 26 年度観光施策(案)」について、資料に沿って説明。その後、委員による意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

- ・地方自治体の話を聞くと、人材育成が非常に大きな課題であると感じる。特にマーケティング能力、財務、データ分析などのスキルを持つ人が不足しているという。そういう知識や能力を持つ人材を、どのように地域に派遣するか、また地域で育てていくかが課題。
- ・海外から来ている留学生に、もっとその国から日本に来てもらうためにはどうすべきか考えてもらい、提案してもらうことは有益である。
- ・もっと多くの訪日外国人に来ていただくために、ターゲットにする国や年齢層等を考えた上で、そのターゲット層に訴求するプロモーションを実施することが大事。
- ・外国人の接待で、美術館に連れていくことがある。浮世絵や版画など、我が国固有の非常に優れた文化があるが、美術館の多言語の説明は短くて、何を意味しているのか伝わらず、外国人にフラストレーションを与えることがある。多言語対応は重要。
- ・ビジットジャパン事業を継続して行うことで、海外の人々の頭の中に日本に対するイメージがストックされてきた。その結果、リーマンショックや東日本大震災で訪日外国人数が落ちこんでも、V字の回復をしてきた。

以上